

ゆふいんアイスアリーナ基本構想の提案

平成 28 年 2 月

メ サ と 滝 回 廊

資料作成：メサと滝回廊 代表 梶原 毅 司法書士梶原毅事務所 TEL 0973-22-4704

HP : http://www.geocities.jp/mesa_takikairou mail : mesa_takikairou@yahoo.co.jp

協力 大分県スケート連盟

- ◆メサと滝回廊HPは、検索サイトにて“滝回廊”で検索出来ます。
- ◆メサとは、スペイン語でテーブル状の山の形状(万年山等)を表す地質用語です。
- ◆メサの山が多い日田玖珠九重に於ける地域の特色をキーワードにして、JR 久大本線沿線のまちづくりと地域活性化の提案、講演イベント参加、慈恩の滝の観光ガイド等を行っているまちづくりグループです。

大 分 県 由 布 市 殿
九 州 旅 客 鉄 道 株 式 会 社 殿
株式会社サンリオエンターテイメント 殿
大 分 県 ス ケ ー ト 連 盟 殿
由 布 院 温 泉 観 光 協 会 殿

ご挨拶

日田市で滝回廊のまちづくり提案を行っているグループ「メサと滝回廊」の代表をしております梶原毅と申します。

九州には、福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県に挟まれた、干満の差が大きく日本最大の干潟で独自の生物が生息する有明海が御座います。この有明海の水は、ラムサール条約に登録された坊がつるとタデ原という湿原から湧出し、玖珠川・筑後川を通して有明海に流れ込み、ムツゴロウを育てています。

私たちは、タデ原と坊がつるから夜明ダムまでを **滝回廊** と呼び、その流域にある滝と水を育むメサの山々に着目し、平成16年から調査を開始し、5つの滝について平成17年に基本構想を作成しました。提案した基本構想の一部に実現されたものもあります。また、慈恩の滝基本構想では、道の駅構想、県道704号線ルート of 提案が具体的（平成28年7月完成）になりはじめ、今後、JR 杉河内駅の道の駅前への移転実現を目指しています。

一方、政府の日本経済再生に向けた緊急経済対策が平成25年1月11日に閣議決定されました。その骨子に地域の特色を生かした地域活性化が盛り込まれています。そのひとつとして述べられている「地域それぞれの魅力を日本全国、世界に発信する。地域の特色ある農林水産物の魅力の発信や輸出相手国の輸入手続きの円滑化のための働きかけなど幅広い輸出拡大の取組等を行う。また、官民協働で地域の魅力を開発・発信し、観光地の再建を図る取組等を推進する。さらに、地域の魅力の中核となる文化施設等の機能強化や国立公園の安全対策等を行うとともに訪日外国人旅行者の誘致を進めるなど観光の振興を図る」これはまさに私たちが目指している**インバウンドツーリズム**に合致したものです。

さらに、冬季オリンピックが2018年に韓国平昌、2022年に中国北京で開催されることで、選手の合宿地及び練習場所として日本が重要視されています。

私たちはこのような中、由布市に於いて国際規格のスケートリンク基本構想を提案させて頂きました。**国際規格のスケートリンクは企業誘致にない芸術性を備えた地方創生**であり、大分県の文化レベルを高め、由布市の名を世界に広め、**インバウンドツーリズム・スポーツツーリズム**を振興し、大分県の観光と発展に寄与するものと確信しています。

本提案書を御一読頂き、その趣旨と提案にご理解下さいます様お願い申し上げます。



由布岳

目 次

1. 現況と課題	-----01
2. 計画の提案	-----01
3. 計画の概要	-----02
4. 施設の概要	-----04
5. 西日本地域のスケートリンクと計画地	-----06
6. 参考資料	-----07



由布岳を背後に望むJR久大本線南由布駅



金鱗湖を源とする大分川と、のどかな遊歩道



由布院ワイナリー(左側)湯布院ガーデンホテルドックラン&リゾート(右側)



中川温泉蛙ノ湯



戦没者の慰霊碑がある小高い丘から望む由布岳



田園風景と由布岳

1.現況と課題

由布市中心部から南西側の湯布院町中川地区計画地には、JR久大本線南由布駅、金鱗湖を源とする大分川と遊歩道、由布院ワイナリー、湯布院ガーデンホテルドックラン&リゾート、中川温泉蛙ノ湯、また、小高い丘の上に戦没者の慰霊碑があり、由布院駅周辺の喧騒から外れた長閑な田園風景とともに、雄大な由布岳の全貌を見ることが出来る風光明媚な場所です。

由布市は、これまでJR由布院駅周辺を中心とした温泉観光地として発展してきましたが、近年の「個」を重視した観光スタイルの変化と海外からの観光客の増加により、新しい時代に対応した施設・場所が求められているといえます。また、施設・場所を単純にリニューアルすることではなく、時代のニーズにマッチした個性的で魅力ある基本理念に基づいた横断的なまちづくりが求められているといえます。

一方、平成17年10月に湯布院町、狭間町、庄内町の3町が合併し、由布市となった現在、少子高齢化による将来人口の減少、若年層の流出などの課題をふまえた上で、スポーツを振興する基本構想を第二次由布市総合計画基本構想（平成28年～平成37年）に盛り込むことが重要であると考えられます。

2.計画の提案

基本理念 インバウンドツーリズム・スポーツツーリズムの振興

本提案書で計画する年間を通して利用可能な国際規格スケートリンクは、対象が国内だけではなく。フィギュアスケートは世界的に人気のあるスポーツで、選手権やアイスショーが数多く行われています。レベルの高い競技会やアイスショーの開催では、世界から選手が来日します。競技はニュースとして世界に発信されます。ここにフィギュアの持つファンタジーイメージを重ね合わせた **ゆふいんブランド** が生まれます。

スケートリンクを核にして世界から選手を始め、観光客が来訪することに繋がります。世界から外国人観光客が増大する事で交流が生まれ、由布市の観光地が紹介される相乗効果によってブランドは揺るぎないものになると考えられます。

また、海外からの交流人口が増大することで、由布市及び県民の子どもたちがスケートを通して国際感覚を養われ、将来の人材育成に繋がると考えられます。

本提案は、インバウンドツーリズムやスポーツツーリズムの振興を通して、観光立国及び地方創生を目指す政府の方針に沿うものであり、由布市の新たな文化と賑わいを創ることが出来ると確信しています。

① 施設の計画

通年利用が出来る国際規格（60m×30m）のスケートリンクを一般滑走（観光）リンクと専用リンクの2面整備することで、九州でのスケートリンクという話題性とインパクトのある施設が、人を呼び、人が集まる、賑わいのある施設になること、施設の活用はもとより地域への経済波及効果が大きく、地域活性化及び観光客誘致に繋がります。また、その中で由布市民及び県民のスケートを通しての育成環境の向上、地場産業の新しい取組みと地域ブランド商品の開発及び由布市のさらなる発展が期待できるでしょう。さらに、オリンピック選手や著名なコーチを招へいすることで、内外のアピール、話題性等、**ゆふいんブランド**の世界へ向けた情報発信を図ることが出来ます。

② 専用列車の新設と観光列車との連携

アイスショーの開催に於いて、都市（福岡市、北九州市）から観客を運ぶアクセス列車を提案します。3両編成、定員150人程度で、イベント時に博多駅～南由布駅、小倉駅～南由布駅、各2往復設定します。乗車券とアイスショーの観覧券がセットになった往復チケットとし、車両室内はフィギュア選手グッズやサンリオキャラクターグッズ、軽食等の販売を行います。また、JR九州が運行しているクルーズトレインななつ星のコースのひとつとして提案します。乗客は、特別招待客として30席用意し、直接アクセス出来る専用のエントランスと特別観客席を設けます。



南由布駅



参考 ななつ星専用バス Wikipedia より

③ 車でのアクセスと駐車場

施設の事業成功のひとつとして十分に余裕のある駐車場の計画が上げられます。車でのアクセスに余裕がないと、成功するとはいえません。よって本構想では一般駐車場とともに地下駐車場を計画します。車でのアクセスは、国道210号線から大分川を跨ぐため新設の橋梁を計画します。

④ テーマパークとの連携

日出町にあるハーモニーランドは、本計画地から約30kmと近接しており、高速道路でのアクセスも容易です。この地の利を活かしてテーマパークとの連携を提案します。例として、イベント列車の運行、共通チケットの販売、共通イベントの開催、連絡バスの運行、世界的に人気のあるサンリオキャラクターのアイスショー開催など、フィギュアの持つファンタジーイメージを重ね合わせた相乗効果が期待出来ます。

⑤ 立命館アジア太平洋大学（APU）留学生との連携

立命館アジア太平洋大学（APU）には、世界83カ国・地域から2,916人（全学生の約半数：2015年）の留学生が来ています。大分県内の子供たちがスケートを通じて留学生と交流することで国際感覚を育み、また、留学生が出身国との橋渡しとなることで由布市の知名度向上と海外からの来訪者が増大することに繋がり、インバウンドツーリズムの振興が期待出来ます。



敷地配置図

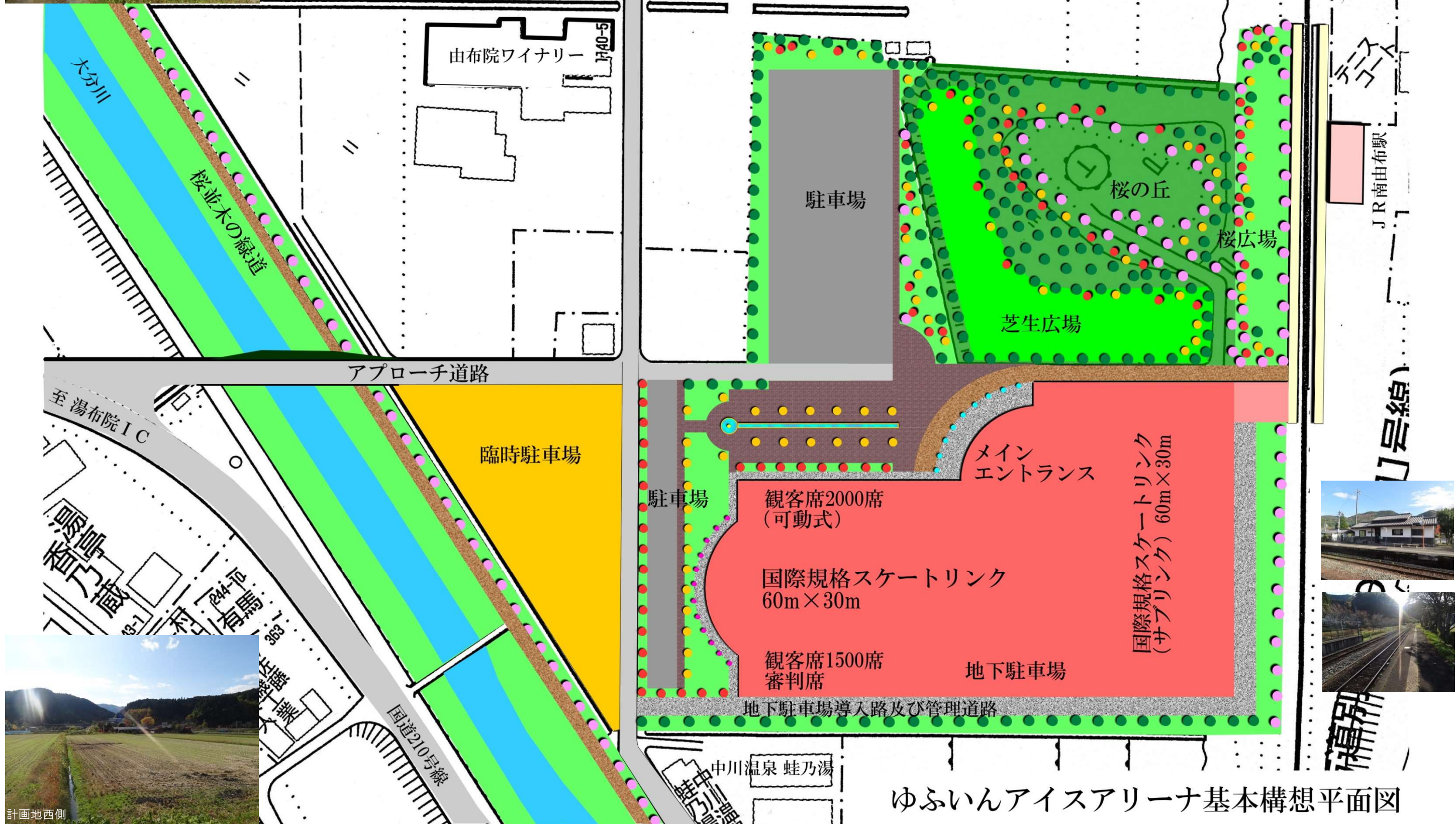


大分川を挟んで国道210号線を望む



JR南由布駅を望む





4.施設の概要

- ① 主な屋内施設
- | | |
|----------|---|
| スケートリンク | 国際規格リンク 60m×30m×2 面 通年型一般滑走（観光）リンク・専用リンク |
| カーリングレーン | 国際規格レーン 45m×10m×2 面 通年型 |
| 観客席 | 一般観客席 1500 席、壁面収納式+可動席 2000 席一般滑走（観光）リンクに設置 |
| 審判席 | 一般滑走（観光）リンクに審判席を設けます |
| エントランス | エントランス 2 ヶ所（一般駐車場側、J R 南由布駅側） |
| ロビー | 一般客用 1 ヶ所 特別招待客用 1 ヶ所 |
| レストラン | バイキングレストラン、喫茶室 |
| ショップ | フィギュア選手のグッズ、サンリオキャラクターグッズ、地元特産品等の販売 |
| 更衣室・ロッカー | 男女更衣室とロッカーを設けます |
| スケート靴置場 | 各種サイズのスケート靴を収納します |
| 宿泊施設 | 20 室（専用リンクを使用するスケーターとコーチ専用） |
| 会議室 | 10 人規模の部屋 2 室を用意します |
| 選手等控室 | 男女の控室を設けます |
| 多目的室 | バレエやダンス等が出来る部屋を設けます |
| 役員控室 | 役員、運営スタッフ、審判等の部屋を設けます |
| 収納室 | 各種備品を収納出来る倉庫を設けます |
| 事務室 | 施設を常時管理するスタッフの事務室を設けます |
| 太陽光発電設備 | 40 万 kw/年（550KW/時） |
| 整氷車 | ザンボニー1 台 ・貸靴 1 0 0 0 足 |

- ② 施設の事業費(想定) 平成26年3月鳥取市スケートリンク検討委員会報告書13・14ページ参照
- ・一般滑走リンク

新潟市アイスアリーナの事業費を参考 延床面積約 5500 m²
国際規格スケートリンク 1 面、国際規格カーリングレーン 3 面、観客席 1000 席
太陽光発電設備 540kw/時 39 万 kw/年 事業費 22 億 7350 万円
- ・専用リンク

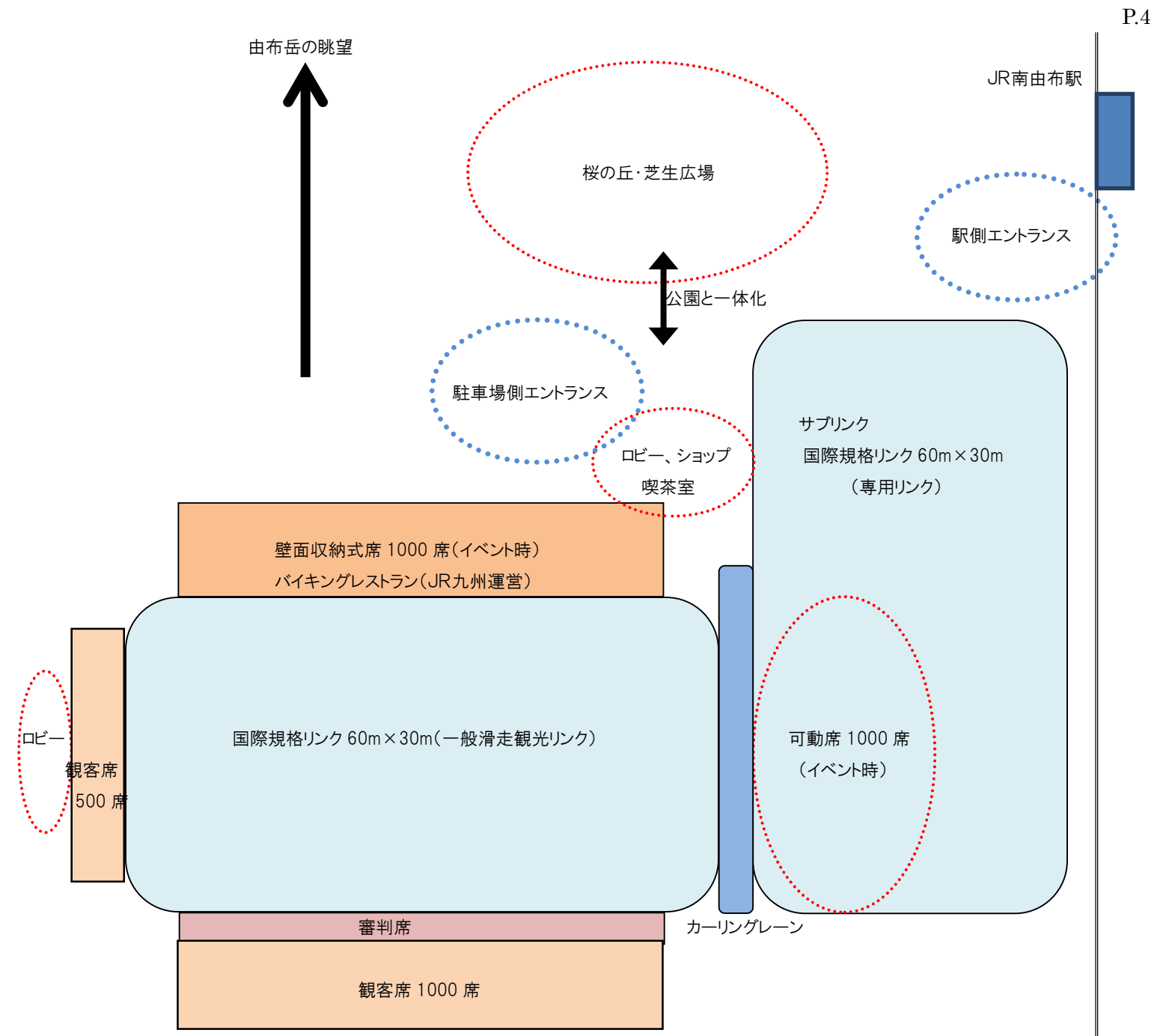
西宮アイスアリーナの事業費を参考 延床面積約 3900 m²
国際規格スケートリンク 1 面、サブリンク 1 面、観客席なし
太陽光発電設備 305kw/時 34 万 kw/年 事業費 12 億円
- 本施設の規模から、この二つの事業費の合計 約 35 億円 を事業費と想定します。
（事業費に土地取得、造成、新設橋梁、道路整備は含まない）

③ DBO方式による事業実施

ゆふいんアイスアリーナの事業は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI 法)に準じて、公共が資金調達を行い、設計(Design)、建設(Build)、運営・維持管理(Operate)を民間事業者に一括して発注する DBO 方式により実施します。

④ DBO方式によるアイスアリーナの事業例

- ・新潟市アイスアリーナは、(株)パティーネレジャーが 15 年間運営する D B O 方式により平成 26 年 2 月に完成していますが、同社の負担額は不明（非公表）です。
- ・西宮アイスアリーナは、一般社団法人西宮アイスアリーナが建物の建築費 3 億円（市民の寄付等）を負担し、(株)パティーネレジャーが設備費 9 億円を負担して同社が 13 年間運営する D B O 方式により平成 25 年 8 月に完成しています。
- ・鳥取市は D B O 方式による合併特例債事業でリンクの計画を進めています。



観客席イメージ(パビオ福岡)

本施設は、JR 九州とサンリオエンターテイメント、大分県スケート連盟（日本スケート連盟と提携）及び観光協会または**新法人**を受託者とするDBO方式により設計、建設及び運営することを提案します。

- ・ JR 九州とサンリオエンターテイメント、観光協会または**新法人**が一般滑走（観光）リンクとバイキングレストランを 20 年間運営します。
- ・ スケート連盟が専用リンクと宿泊施設を運営し、専用リンクで練習するスケーターが 1 日 2 回一般滑走（観光）リンクで演技すること、コーチが小中高生等若いスケーターを 1 日 2 回指導することを条件に、専用リンクと宿泊施設及びバイキングの利用を無償にし、トップスケーターや著名なコーチの招へいを可能にして、若いスケーターの育成を図ります。
- ・ ハローキティをはじめ様々なサンリオのキャラクターによるアイスショーやトップスケーターによるアイスショーの開催、フィギュア、アイスダンス、カーリング、アイスホッケー等の大会や試合を由布市のイベントと同時開催することによって、JR 主要駅（博多、北九州）からアイスショー観覧ツアー列車など様々なイベント列車の運行が考えられます。さらに、固定席（1500 席）を配分することによって、アイスショー観覧付の宿泊券やハーモニーランド入場券を発行することができます。

⑥ 本施設の運営と収支

収入は、ゆふいんアイスアリーナの経済効果を、支出は、鳥取市スケートリンク検討委員会報告書の 20 ページ⑤を参照して下さい。（5 年毎の大規模改修に要する費用を 20 年間で約 1 億としています。）
本施設の運営については、軽井沢風越公園アイスアリーナの平成 27 年 8 月予定表を参考にして下さい。

⑦ その他本提案の骨子

●国際規格のリンクが 2 面あること、●世界でも類をみない鉄道に直結したリンクであること、●日出町にサンリオのテーマパークがあること、●スポーツの中でショーになるのはフィギュアであること、● WEF（世界経済フォーラム スイス）は、日本の鉄道インフラを世界観光競争力ランキング 141 ケ国中項目別 1 位にしたこと、● WEF は、日本の大規模スポーツ施設の数と同ランキング 4 位にしたこと、●国は、2016 年に JR 九州の株を民間に売却すること、●JR 九州が完全民営化した場合、赤字路線である久大本線の存続が危ぶまれること、●2018 年と 2022 年に韓国と中国で冬季オリンピックが開催されること、●本提案のリンクは、NHK 杯国際フィギア大会や国体が開催できること、●由布市は、平成 27 年度 83 億円の合併特例債発行可能額を有し本事業を実施できること、●国に提出した総合戦略のなかでトップアスリート育成事業としてスポーツ関連施設整備を掲げていること、これらをふまえて本施設は、オリンピック等を目指す選手の育成と大分県のスポーツ振興に寄与するとともに、鉄道インフラとテーマパークの持続及び由布市のさらなる魅力向上に寄与し、新たな文化と賑わいを創出できると考えられます。

- ・ 合併特例債事業による**由布市の負担額**は、35 億円の 5%＝**1 億 7500 万円**と 33 億 2500 万円を 20 年償還（年利 1.2%）した場合の元利合計 37 億 4395 万円の 30%＝**11 億 2318 万円**の合計 **12 億 9818 万円** です。
- ・ DBO 方式による受託者（JR 九州）の負担額 **11 億 2318 万円**（20 年償還）、寄付やふるさと納税、一般財源から **1 億 7500 万円** 負担することを提案します。
- ・ 岩手県紫波町のオガールプロジェクト（PPP 手法）におけるバレーボール専用体育館は、特化することで高稼働率を維持しています。
- ・ 本施設は、2018 年韓国平昌（時差 0 時間）と 2022 年中国北京（時差 1 時間）で開催される冬季オリンピックに出場する欧米・ロシア、カナダ等の選手の合宿地として活用することが期待できます。
- ・ 本施設を利用するボランティア通貨の発行、本施設で使用する電気をバイナリー発電による電気で賄い、余剰電気を購入する地域通貨の発行や電気自動車を普及させエコタウン化を図ることが考えられます。

⑦ 地元育成の現状

大分県内のフィギュアスケート環境は、国際舞台で戦う選手の育成を目指すため、現状では中津市山国町のコアやまくにスケート場や久留米スポーツガーデンで練習しています。ジュニアスケーター達は久留米へ週 4 回通い、帰宅は深夜 1 時になる事もあります。フィギュアスケートが国内で活性化している半面、大分県のフィギュアスケート環境の現状は厳しいものがあります。

また、大分県内のアイスホッケーやカーリングに於いても通年利用出来る施設が県内にないため、選手の練習は福岡や熊本へ遠征しています。

将来のオリンピック候補の選手を育成するためにも、地元で優れた環境を提供することが必要ではないでしょうか。



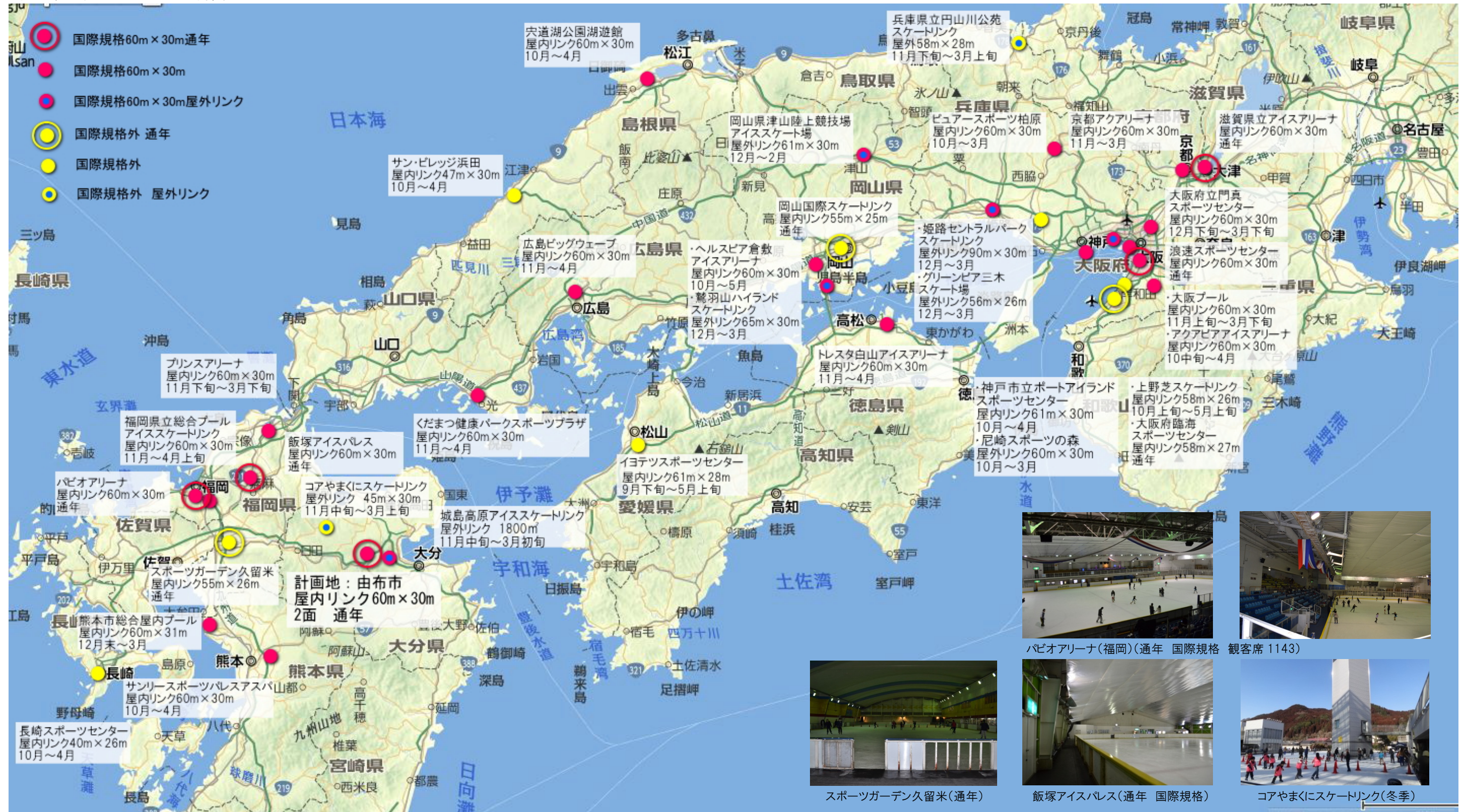
スポーツガーデン久留米での練習



スケート教室(コアやまくにスケートリンク)



5.西日本地域のスケートリンクと計画地



西日本地域のスケートリンクと計画地

10年前まで国内に百数十ヶ所あった年間を通して利用出来る国際規格(60m×30m)のアイススケート場は、現在24ヶ所であり、その中には施設の老朽化やフロン排出抑制法(フロンガスの繰り返し充填禁止 平成27年4月施行)により施設の改修や閉鎖が検討されているものがあり、国内オリンピック選手等から存続を強くアピールされているところです。

パピオアイスアリーナ(福岡 平成3年開設)、飯塚アイスパレス(昭和60年開設)、スポーツガーデン久留米(昭和42年開設)のリンクは、老朽化しているうえフロンガスを冷媒に使用していますので、施設の改修又は建て替えが必要になると思われます。

近畿以西の通年利用できる国際規格(60m×30m)のスケートリンクは、パピオアイスアリーナ(福岡市 観客席1143)・飯塚アイスパレス(観客席なし)・浪速スポーツセンターアイススケート場(大阪市 観客席316)・関西大学アイスアリーナ(高槻市)・滋賀県立アイスアリーナ(大津市 観客席2400)・西宮アイスアリーナ(観客席なし)・岡山国際スケートリンク(観客席なし)・ヘルスピア倉敷アイスアリーナ(観客席なし)の8ヶ所です。九州地区の通年利用の施設に於いて、フィギュア競技やレベルの高いアイスショーを開催出来る施設は、パピオアリーナ(福岡市 観客席1143席)のみですが、仮設リンクとして、マリンメッセ福岡(観客席12000席)や、別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ 観客席4000席)等でアイスショーが開催されています。

6.参考資料 サンバレー (Sun Valley)

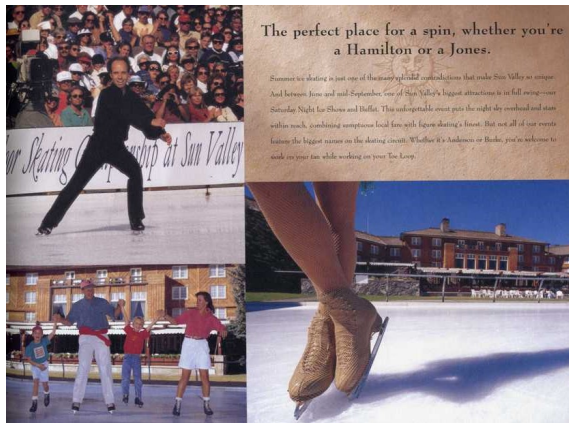
米国アイダホ州サンバレー (Sun Valley) 人口約 5 万人の高級リゾート地。ロッキー山脈の西側に位置し、自然豊かな素晴らしい景観を誇ります。アウトドアレクリエーションが盛んで、スキー、スケート、フライフィッシング、マウンテンバイク、ハイキングなどが楽しめます。屋外リンクで開催されるサマーアイスショーやボードマウンテンでのスキーが有名で、世界中から観光客が訪れています。



サンバレー全景 ロケーションが由布市と類似しており、スキー、スケート、ゴルフ、フィッシング等、アウトドアレクリエーションが盛んな地区です



フィギュアスケートアイスショー 観客席とリンクが近く、迫力あるアイスショーを観客に提供しています
(資料提供 大分県スケート連盟)



長野県山ノ内町では、1973 年（昭和 48 年）2 月 1 日 に姉妹都市提携しています。一方、ロケーションとレクリエーションイメージが由布市に類似しており、ぜひ、姉妹都市の候補としてサンバレーをお勧め致します。



サンバレーのスケートリンクのひとつ。屋内スケートリンク(写真提供 大分県スケート連盟)

ゆふいんアイスアリーナ基本構想の提案(平成 28 年 2 月)

資料作成 メサと滝回廊 代表・梶原 毅 司法書士梶原毅事務所 TEL 0973-22-4704

HP : http://www.geocities.jp/mesa_takikairou/ mail : mesa_takikairou@yahoo.co.jp